

# 令和3年度 当初予算要求の概要

局・区名

堺区役所

要求総額

1,487

百万円

(対前年度予算 ▲ 19 %)

## 局区予算要求方針

狭隘(きょうあい)・老朽化により長年ご不便をおかけしていました保健センターが、今秋、市役所敷地内に新しくオープンすることから、先に移転します堺パスポートセンターの跡地活用と併せて、ウィズコロナを踏まえながら区役所機能を飛躍的に充実させます。

次に、通勤、通学、観光などで日中に堺区を利用する方々に対する防災対策、独居高齢者(1万5千人超)の避難行動支援は、堺区の重点課題です。区役所の機能強化(モデル区役所)として、ウィズコロナを踏まえ、区民、事業所と連携した総合的な防災体制の再構築を図ります。

最後に、類まれな歴史文化資源の集積を活かし、シビックプライドの醸成につなげる取組や”堺らしい”おもてなしの精神を育む取組についても引き続き加速させます。

※ 給料、職員手当、共済費等各局で要求しないものは除く

## 主な要求項目

### 1 区役所の機能充実による更なる利便性の向上

要求額

○ 堺区「みらい型窓口」創造事業(拡充)

58 百万円

取組内容 3階の保険年金課を1階市民課横に移転するとともに、新型コロナウイルス対策を充実させた「窓口リノベーション」を行うことにより、市民・職員双方にとって快適で利便性の高い「みらい型窓口」を実現します。

○ 新・堺保健センターの移転整備(拡充)

638 百万円

取組内容 堺保健センター及びちねが丘保健センターを本庁敷地内に統合移転し、区役所と連携した利便性の高い窓口環境を整えます。加えて、新型コロナウイルス対策を十分に施した先進的な機能を導入することにより、区民・職員双方にとって快適で機能的な環境を提供します。

### 2 多様な世代で防災体制を支え、安全・安心を確保

○ 堺区防災総合推進事業(新規)

1 百万円

取組内容 区役所の機能強化(モデル区役所)として区民・事業所と連携した「防災機能の強化」に取組みます。令和3年度は「防災総合推進チーム」を設置し、令和4年度に新設を予定している「(仮称)堺区防災総合推進室」「(仮称)堺区地域防災テラス」で実施する取組み内容を検討します。

○ 区民評議会に代わる「新しい制度」運営事業(堺区)(新規)

4 百万円

取組内容 区民等の意見を反映しつつ、地域の実情や特性に応じた政策形成を推進するため、区民評議会に代わる「新しい制度」を創設し、特色ある区行政の実現をめざします。

○ 地域防災サポーター実践プログラム「親子避難所体験」

1 百万円

取組内容 「20歳(ハタチ)になったら防災士」資格取得促進事業により、防災士資格を取得した「地域防災サポーター」の実践の場として、小中学生の親子避難所体験を実施します。この取組により若手防災士を地域防災活動に導き、地域の防災力向上につなげます。

### 3 伝統文化に親しみ、地域への誇りと愛着を醸成

○ 堺区「自転車のまち」推進事業

5 百万円

取組内容 3歳児健診時に自転車用ヘルメットを配付するとともに、楽しみながら乗車マナーを学べる自転車教室を実施します。これらの取組を通じ、幼少期からヘルメット着用を意識づけ、安全な自転車利用を促進するとともに、「自転車のまち・堺」としてのシビックプライドの醸成につなげます。

○ 堺区おもてなしセミナー事業(新規)

1 百万円

取組内容 区民を対象に、外国人観光客に対する外国語での対応や定住外国人の増加にともなう多様な食文化について学ぶ機会を設けます。この取組により「堺らしい」おもてなし精神を育み、来訪者にとっては「優しく」、区民にとっては「誇りと愛着」が実感できる堺区の実現につなげます。